

夢・努力・感動 ～生徒とともに～

平成 31 年 4 月 25 日 (木)
人権・同和教育部だより
生徒・保護者版

みなさん、こんにちは。人権・同和教育部です。新学期が始まってもうすぐ令和元年の5月になります。今は大社高校生の誰もが良い意味での緊張感を持ち、張り切って学校生活を送っていることでしょう。さて、人権・同和教育部だよりでは今年度も人権問題をはじめ学校生活に関する話題等幅広く取り上げていきますので、みなさんもその都度一緒に考えていきましょう！

SNSについて 以下は人気タレントの二人のSNSの投稿に関する文です。

3月10日に放送が終了したテレビドラマに出演していた川栄李奈さん。最終回が終わった後に川栄さんが投稿したインスタグラムの記事が反響を集めています。川栄さんは、この記事に出演者と一緒に写った集合写真を掲載し、テレビドラマを応援してくれていた視聴者に感謝のことばを綴っています。出演したドラマがSNSの負の側面やネットの持つ力の怖さを描いた作品であったため、「SNSでの誹謗中傷やイジメ。顔のバレないネット上だと好き放題。」とネット社会の問題についても言及しました。投稿の最後には、「当たり前のことですが書く前にこの言葉で誰かが嫌な思いをしないか自分に問いかけてみてください。」と締めくくりました。

藤田ニコルさんの投稿にも注目すべきものがありました。最近藤田さんは、応援することをやめるとのメッセージをSNSで受け取ることがあったそうです。もし、直接話しかけるとしたらこんなことを本人に伝えるでしょうか。藤田ニコルさんは「もう応援するのをやめようとか必要とされてないとか報告はやめた方がいいと思います。」と意見を述べています。

これらのSNSの投稿を読んでどう感じたでしょうか。「アイドルやモデルは大変だなあ。」「芸能人はたたかれることもあるよね…」なんて人ごとのように考えている人もいます。

でも、ちょっと待ってください。もしかすると上の二人と似たような思いをあなたのクラスメイトや部活動の仲間にさせているかもしれません。「裏アカ*1だからこのアカウントを使って悪口を書き込んでも私が発言したなんて気づかれない。普段直接言えないことも書いてしまおう。」「鍵をかけている*2から多少人を傷つけるようなことを発言してしまっても両親や先生には見つからないし…」などと考えたことはありませんか。

実際にSNSに悪口などを書き込んだことが相手の知るところになれば、当然相手は嫌な気持ちになるので、その行為は即いじめにつながります。たとえ相手に分からなかったとしても、良くない行為をしたという気持ちはずっと残るので人を傷つける行為は、やがて自分をも傷つけることにもなります。どんな形であれSNSをネガティブな方向で使うのはやめましょう。

1年生は4月から初めてスマートフォンを手にした人も多いことでしょう。SNSは便利なものですし、やりとりをすると楽しいことも多々あります。反面、SNSでは相手の表情が見えず、文字だけでは自分の気持ちがうまく伝わらなかったり、誤解されたりすることも珍しくありません。直接顔を合わせながらコミュニケーションをするのに比べて、より慎重に発言したり発信したりすることが大事です。

大社高校の皆さんは、SNSをポジティブな形で使用することで、お互いに楽しく気持ちのよい学校生活を送るための一助にして欲しいものですね。

*1裏アカウント、裏垢ともいう。SNSの中には複数のアカウントを作成できるものがある。裏アカはSNSにおいて趣味用やプライベート用として、学校や会社といった実際に交友関係がある人以外と交流するために2つ目のアカウントとして作られることが多いが、陰口を言うために利用されることもあり問題視されている。

*2アカウントの投稿などを非公開にすることができる設定のこと。この設定をしたアカウントに対して閲覧の許可を求めることで投稿などが見ることができるようになる。

【参考資料】

川栄李奈公式 Instagram (https://www.instagram.com/rina_kawaei.official/)

藤田ニコル公式 Twitter (<https://twitter.com/0220nicole>)



最後になりましたが、今年度の人権・同和教育部のメンバーは以下の通りです。職員室は地歴公民科準備室です。何か学校生活で困ったことなどで相談があれば、気軽に来て下さい。

森山祐司(数学科) 重栖由紀(国語科) 山口成美(地歴公民科)